# プランの方向性 ① 持続可能な都市の構造

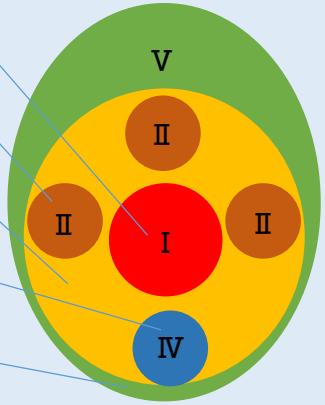
資料2－1

## アプローチ

- ①都心部・定住人口の求心力となる拠点の魅力・活力の向上
- ②安心・安全で快適な暮らしの確保
- ③産業の活性化と働く場の確保
- ④京都ならではの文化の継承と創造
- ⑤緑豊かな地域の生活・文化・産業の継承と振興

## 地域分類

- Ⅰ 広域拠点エリア
- Ⅱ 地域中核拠点エリア
- Ⅲ 日常生活エリア
- Ⅳ 産業集積エリア
- Ⅴ 緑豊かなエリア



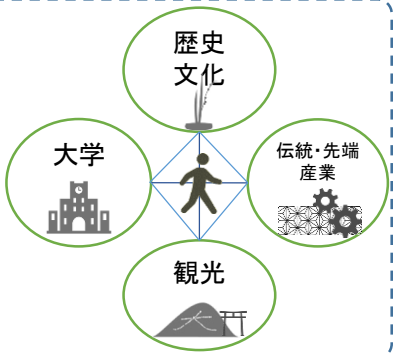

| 地域 | 基本的役割 | |
|---|---|---|
| 広域拠点エリア | 京都の都市活力を牽引 | ・商業・業務をはじめとした都市機能が集積<br>・国内外から訪れる多くの人々の活動を支える<br>・都心居住による京都らしい都市空間を創出 |
| 地域中核拠点エリア | 定住人口の求心力 | ・京都で暮らす人々のニーズに応じた都市機能の集積や充実，更新を促進<br>・子育て期をはじめ，それぞれのライフステージに応じて効率的な利用が可能 |
| 日常生活エリア | 定住人口の生活の場 | ・日常生活を支える商業などの利便性の確保<br>・多世代が安心・快適に居住<br>・地域のコミュニティ・文化を継承 |
| ものづくり産業集積エリア | ものづくり産業の集積 | ・操業環境の確保，住・工の調和<br>・産業用地・空間の確保<br>・京都にふさわしい生産，業務，研究開発機能等の集積を促進 |
| 緑豊かなエリア | 地域の生活・文化等の継承 | ・豊かな自然や地域の特色を活かした都市部との文化・経済的な交流<br>・農林業や観光などの産業の振興等<br>・地域の生活・文化等を維持・継承 |

＋

## 京都ならではの資源を活かし新たな魅力や価値を継承・創造

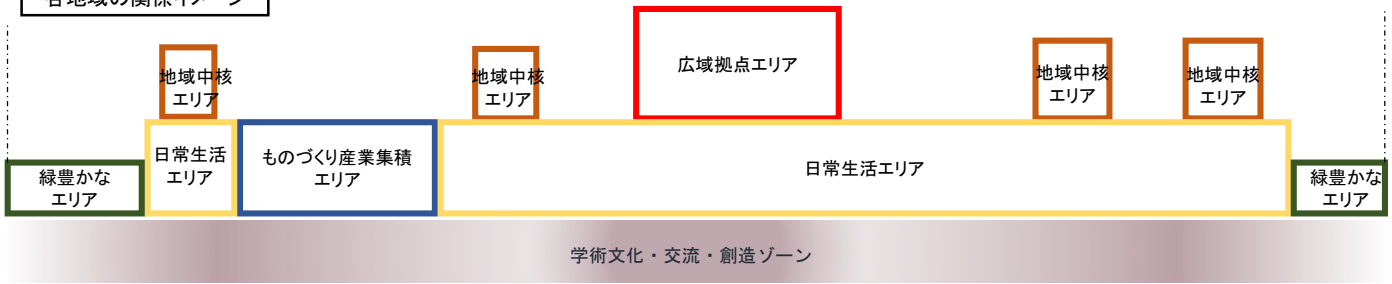
発信

- 出合う
- 集う
- 交流する




**学術文化・交流・創造ゾーン**

- 歴史，文化，大学，観光，伝統産業，最先端のIT産業など，それぞれが磨かれ相互に刺激
- 高度な知識や技術，多様な価値観を有する人々が出合い，集い，交流
- クリエイティブなまち・京都ならではの魅力を発信

＊市内に広がる京都ならではの多様な資源のつながりを各エリアの土地利用に重ね合わせて，魅力を創出・発信するゾーン（場所を限定しない。）

各地域の関係イメージ